

授業科目名	観光学概論
授業科目名（英字）	Introduction to Tourism
時間割	後期 火曜日 5校時 -
対象年次及び学年	1年次
担当教員	山崎 隆之
ナンバリングコード・水準	B1
ナンバリングコード・分野	GEO
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)	bde
ナンバリングコード・提供部局	E
ナンバリングコード・対象学生	3
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	O
ナンバリングコード・授業形態	Lx
ナンバリングコード・単位数	2

関連授業科目	まちづくり論、地域活性化論、観光地理学、エコツーリズム論、観光産業論、観光政策論
履修推奨科目	
学習時間	講義90分×15回＋自学自習（準備学習 30時間＋事後学習 30時間）
授業の概要	誰もが経験したことのある旅行（観光）ですが、では改めて「観光とは何か？」と問われると答えに困るのではないでしょうか。 「観光は地域の総合産業」「観光は地域のまちづくりの総仕上げ」などとも言われるように、観光は単に旅行すること自体に留まらず、地域の色々なものごとに関わりのある人間の行動であり、経済活動です。 この授業では、観光の持つ多様な側面について解説するとともに、現在、全国各地で行われている観光振興のための取り組みについても、できるだけ多くの事例を紹介します。
授業の目的	これから観光について学んでいくための足場固めをするために、幅広い観光の分野についての基本的な理解すると同時に、各地の具体的な事例から地域における観光の現状について理解することを目指します。
到達目標	１．学んだ概念や用語を使って観光について説明できる（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応）。 ２．様々なタイプの観光の実例について具体的に説明できる（共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応）。 ３．観光の持つ魅力や課題について指摘できる（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「地域に関する関心と理解力」に対応）。
成績評価の方法	①授業各回の小レポート（45％）と②期末レポート（55％）の総合評価とします。 なお、期末レポートの評価の観点には、到達目標1～3を含む。
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。 優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。 良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。 可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。 不可（60点未満）到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。
授業計画並びに授業及び学習の方法	(1) イントロダクション① 欲望の旅、学びの旅 (2) イントロダクション②「どっさり」と「ゆったり」 (3) 用語から見る観光 (4) 歴史から見る観光 (5) データから見る観光 (6) 観光資源と観光ルート (7) 観光産業の特徴 (8) 観光産業①宿泊業 (9) 観光産業②旅行業 (10) 観光産業③交通運輸業 (11) ニューツーリズム①エコツーリズムなど (12) ニューツーリズム②産業観光など (13) 観光まちづくり①湯布院温泉の事例 (14) 観光まちづくり②近年の展開 (15) 観光政策と観光マーケティング

	【授業外での学び（自学自習）】 授業の中で観光に関する様々な事例を多数紹介します。授業内で紹介できるのは、それぞれの取り組みのごく一部でしかないので、興味を持った事例については、インターネットや新聞・雑誌、書籍などで、関連する他の事例などについて調べてみてください。（各授業回前後で4時間、15回の授業全体で60時間程度） 【授業形態】 この科目は全回対面授業を行う予定ですが、状況によって全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。いずれの場合でも、講義や課題は同じ内容のもので変更ありません。
教科書・参考書等	教科書：特になし。適宜授業内で資料等を配布します。
オフィスアワー	授業終了後に対応します。 山崎研究室（南3号館3階）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	・授業計画は進捗状況により、変更になる場合があります。変更については授業内で適宜連絡します。 ・授業に参加する意思がない態度や、授業の進行の妨げになる行動をとる学生については退室を指示し、態度が改められない場合は単位の取得を認めない。
参照ホームページ	
メールアドレス	yamazaki.takayuki@kagawa-u.ac.jp
教員の実務経験との関連	
特記事項	障がい等により本授業の受講に際し特別な配慮を要する場合は、所属学部・研究科の学務係（医学部・医学系研究科は学生係）又はバリアフリー支援室に事前に相談してください。